

東濃社会教育だより

-担当課所管事業・CS編-



恵那県事務所
振興防災課 振興係
社会教育担当:岩島 哲也
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

瑞浪市成人式の取組

～新成人実行委員会を中心に地域の方々の協力による手づくりの成人式開催～

☆今年度の**実行委員** …市内全中学校（7校）

計**22名**

☆**実行委員会実施回数**…計**22回** 8月から実施

（昨年度より1ヶ月早く開始）

☆今年度の**成人対象者**：449名

内出席者：348名、出席率77.5%



◇記念品選定：陶磁器直売所に新成人の要望を伝え、用意してもらった多くのサンプルから「使うたびに瑞浪を思い出す」という思いに合った商品を実行委員が選定した。

◇市内在住の**役者・演技・朗読指導者2名**に舞台演出指導を依頼したところ、企画段階から参加し、身近な助言者として活動を支えてくださった。

◇オープニングにおいて、麗澤瑞浪中学・高等学校太鼓部が演奏を披露し、観客の意識を一気に舞台へと引き込んだ。

◇地域の**和装団体**に実行委員・新成人の着付け直しを依頼したところ、式典終了まで細かなサポートをしてくださった。

◎22人という人数の実行委員会を22回も実施することの大変さは、容易に想像がつかます。しかし、それをやり切ることができるのは、瑞浪市成人式の『伝統』が脈々と引き継がれ、実行委員として携われることの誇りや使命感が芽生えているからだと思います。何よりその支えとなっている社会教育課の皆さんのご尽力があるからこそだと言えます。

☆市の事業である「成人式」を瑞浪市教育委員会社会教育課が所管し、実行委員会を中心に取組過程を大切にしながら運営されました。その中でも実行委員の立ち位置を、与えられた場で数人の新成人代表者が挨拶をするといった、式典の中に組み込まれたほんの一部ではなく、「**主体的に式を創り上げる**」ところまで目指しています。また、成人式の構成を式典とアトラクションの2部にするのではなく、「成人の火の伝達」を核として、1時間の枠の中でテンポよく式を展開し、新成人の関心を惹き付けるということも大きな特長です。

事務局である社会教育課担当は、**実行委員の主体性を引き出すこと**を重視し、特に以下のような側面的な支援が行われました。

・「**どんな成人式にしたいか。**」、「**そのためにテーマを何にするか。**」という願いやイメージを共有するため、**時間をかけて話し合う**ように指導

- 成人式当日までのスケジュールを示して**見通しを持たせる**こと。
- 恩師等への**依頼の仕方**を教えること。
- 指導者と委員をつなぐ**こと。

実行委員は回を重ねるごとに活発になり、企画や台本、動画等を指導者の指導、事務局の支援によって、自分たちの手で創り上げることができました。（実行委員会方式が長く続いていることから【30年程】、実行委員の中には、兄弟が実行委員を経験した者や、実行委員を務めた先輩の話を聞いて応募してきたという者もいたそうです。）

3月には、成人式の象徴である「成人の火」を次代につなげていくために、今年度最後の実行委員会を実施し、記録映像を見ながら式典を振り返り、来年度の成人式に残したい事柄や想いをまとめる計画があります。

【テーマ】 「i ～ 逢・相・愛 全てのiに感謝～」

- 「i」の点は私たち自身を、棒の部分は支えてくださった人たちを表し、大人として自立する、覚悟をもつという意味を含めました。
- 「i」の点を炎、棒の部分をろうソクに見立てることで、成人の誕生を祝う気持ちを込めました。

サブテーマは、係ってきた人や経験への感謝を表しています。

「逢」は、この世に生まれ、家族や友人、先生方へと広がる出逢いへの感謝。

「相」は、いつも傍にいてくれる友人や、共に働く職場の方など、大切な相手への感謝。

「愛」は、新成人となるまで支え育ててくれた親や家族の愛への感謝。



- 成人式式次第
- オープニング
(麗澤瑞浪中学・高等学校 太鼓部演奏)
- 来賓紹介
- これまでの私たち
(誕生～高校生)
- 開式
- 恩師からのメッセージ
- 今の私たち
- 感謝の手紙
- 成人の火の伝達
(先輩からの激励)
- これからの私たち
(未来への誓い)
- お祝いの言葉
- 記念品贈呈
- 新成人お礼のことば
- 閉式

◎実行委員の想いを大切にし、テーマとの関連性も見届けながら、着実なステップを踏んで取り組まれたことで、実行委員の充実感、地域への思い、感謝の気持ち等、大切な価値の獲得につながっています。さらに参加者・来賓にも実行委員会の想い・それまでの頑張りが伝わり、一体感のある式になったと言えます。

新成人の言葉・思い

- ◇「新成人としての喜びと責任をかみしめ、**瑞浪市の一員として地域に貢献する**」(実行委員 誓いの言葉から)
- ◇「自分の周りには普段目に見えないだけで、**支えてくれている人がいる**と分かった。」(式終了後の実行委員の感想より)

来賓の方からの声

- ◇多くの式に参加しているが、**瑞浪の成人式は最高。手作りの式は新成人の記憶に残る。**

担当者からの一言

◇実行委員が半年間活動を続けてつくり上げた成人式は、**テーマである感謝や自立以外にも、夢や生きがい・地域への誇りが新成人ならではの言葉や姿で表されていた。**これは、成人式をつくり上げる経緯が、**社会との関わり方や自分の生き方を見つめ直したり、郷土瑞浪の良さに気付いたりすることを促した結果である**と言える。

また、**実行委員以外の多くの新成人にとって、式典に参加したことが感謝の気持ちと成人の自覚をもつ場となり、実行委員の想いを共有できたことは大きな成果である。**

～今回のピックアップ事業②～

東濃地区のCS（コミュニティ・スクール）導入状況 【多治見市立脇之島小学校】

今年度からの「学校運営協議会」の努力義務化に伴い、今後、義務化されていくことも想定されます。

東濃地区では、多治見市立市之倉小学校、多治見市立北栄小学校で推進されており、今年度からは多治見市立脇之島小学校、恵那市立恵那北中学校区（中野方小学校・恵那北小学校・飯地小学校・恵那北中学校）でCSが導入されました。

そこで今後のことを鑑み、今年度から導入された脇之島小学校のCSに係る導入状況（これまでの取組状況）を紹介します。

1 導入に至った経緯

脇之島小学校を取り巻く状況

- ・ 少子高齢化により、児童数の減少が著しい校区である。 ・ 児童数の減少に伴い、教職員数も減少。（学校運営上、厳しくなってきている。） ・ 多方面で活躍された豊富な人材が存在する地域である。 ・ 自治会・公民館活動等、活発に行われているまとまりのある地域である。

→ 地域と学校との連携を深めることで、学校も地域も活性化することが期待できる。

（多治見市教育委員会 教育推進課 高橋 光弘 主幹より）

2 準備段階での取組内容

【多治見市教育委員会】

- ① 学校長への打診・学校への説明
- ② 学校運営協議会 委員長の人選（学校長との協議）と依頼
- ③ 年度末の学校評議員会で設置依頼と説明
- ④ 北栄小学校の学校運営協議会の参観

【脇之島小学校】

- ① 学校運営協議会についての理解（市教委からの説明・実践校からの情報収集）
- ② 委員の人選（留意点）
 - ・ 学校評議員を母体とする。
 - ・ 初めはなるべく少ない人数で組織する。（後から増やすことは容易だが、減らすことは困難という考えから）
 - ・ 委員長から推薦された人と面談（校長・教頭）し、役員を選出。
- ③ 委員長との事前打合せ（確認事項）
 - ・ まずは、1年間かけてゆっくりとできることを模索していけばよい。
 - ・ 会議は原則月に1回、職員の勤務時間内（16:00～17:00）で行う。
- ④ 年度末のPTA本部役員会で説明
- ⑤ 年度初めの学校報やPTA総会の校長挨拶の中で地域や保護者に説明
- ⑥ 北栄小学校の学校運営協議会の参観（教務主任・委員長）

3 学校運営協議会のメンバー構成

- ☆ 区長会長…委員長
- ・ 学識経験者（大学名誉教授）
- ・ ふれあいセンターわきのしま会長
- ・ 民生児童委員 会長
- ・ 民生児童委員 主任児童委員
- ・ 公民館長
- ・ 市民会議推進員
- ・ PTA会長 **計8名を委嘱**
- ・ 校長、教頭、教務
- ・ 市教委3名 **計6名の事務局**

4 学校運営協議会の実施・計画内容

- 5月 ・ 学校運営協議会について ・ 委員委嘱
- ・ 学校運営方針の承認 ・ 協議会の年間計画作成、「学校が困っていること」について（職員アンケートの実施）
- 6月 ・ 職員アンケートから、「学校が困っていること」について
- ・ 地域にお願いしたいこと…1年生のみの下校時の見守り、運動会のテント張り、草取り、ライン引き等
- 7月 ・ 運動会に係って ・ PTA親子清掃、地域合同防災訓練に係って
- 8月 ・ スクラムスタッフ（ボランティアメンバーの再構築について）
- 9月 ・ 授業、作品展、施設見学 ・ 意見交流…空き教室の有効活用
- ・ 30周年記念式典について
- 10月 ・ 運動会について ・ 脇っ子フェスティバル ・ 30周年記念式典について
- 11月 ・ 小学校と公民館の合同コンサートについて ・ 公民館との協力について
- 1月 ・ 学校評価について（保護者・児童・職員から）
- 2月 ・ 学習支援や緊急時対応支援について
- 3月 ・ 来年度に向けた計画検討（日程・内容）



【学校運営協議会の様子】

5 今年度の成果と今後に向けて

- ◎ラジオ体操、たこあげ大会、どんど焼き等、子どもたちの地域行事への参加率が高くなった。
- ◎地域との関係を深めることにより、学校の現状を理解していただくことができ、学校の問題解決に向けて、お願いがしやすくなった。そのことによって、教職員の行事の準備や不得意なことに対する負担が小さくなった。
- ◎地域の方々がとても協力的で、お願いを快く引き受けくださり、教職員の負担が小さくなった。
 - (・運動会前の親子整備作業、草取り、児童席のテント張り ・テントの撤去の援助 ・5年生の地球村合宿時、カレーライスづくりに地域の食生活改善推進協議会の方々の支援 ・1年生の単独下校時、交通安全協会の方々による付添い下校、交差点等での見届け ・公民館活動との連携 等)
- ◎協力的な学校運営協議会委員の方々のお陰で、「学校は地域と共に歩んでいる」という意識を高めることができた。
- ◎学校運営協議会の議事録をHPで地域やPTAの方々に発信し、協議会の活動内容を広めた。
- △他地区のコミュニティ・スクールの先進的な実践から学び、「脇之島町」にあった運営協議会のあり方を確立していく。
- △学習支援や緊急対応支援について検討していく。

6 脇之島小学校 館林 直子 校長先生の想い

☆学校運営協議会とは、地域の方と共に「こんな子どもを育てたい、こんな学校にしたい、こんな町にしたい。」という夢を語り、実現させていく場であると思っています。先日の学校運営協議会で、次年度の構想を話し合ったとき「楽しみだね。」「わくわくするね。」という声が役員から出てきて、本当にありがたいと思いました。

地域の方が学校に入ってきたことで、学校と地域の距離がグッと近くなり、地域に出て活躍する子どもの数が増えてきました。「地域に応援してもらう学校」という立場だけでなく、「地域を学校が応援する」という関係を、学校運営協議会を核にして築いていきたいと思っています。



【地域の方々との触れ合い活動の様子】

◇CS導入初年度でありながら、学校運営協議会の着実な歩みによって地域との緊密な関係を構築し、教職員・子どもたちのためになる活動が展開されています。校長先生が述べられているように、双方向の関係に発展していくことが期待されます。

コミュニティ・スクールの役割と今後

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

学校運営協議会の主な役割として、

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

の3つがあります。

平成27年12月に取りまとめられた中央教育審議会答申「新しい時代の教育と地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」を踏まえ、**学校運営協議会の設置（「所管する学校に学校運営協議会を設置する」こと）の努力義務化**やその役割の充実などを内容とする、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、平成29年4月1日より施行されました。「一部の学校だけで」、「モデル校的に」取り組む段階ではなくなったということです。また、「努力義務」とは、義務化を前提に、「義務化されるまで猶予期間があるので、その間に設置できるように体制を整えてください。」という意味です。

さらに努力義務化されたことによって、平成29年度までの補助事業「コミュニティ・スクール導入等促進事業」（導入する個々の学校を支援、域内の一部の学校を対象に、モデル的に取り組むことが可能）から、平成30年度は「**コミュニティ・スクール推進体制構築事業**」（域内全ての市区町村及び学校において、コミュニティ・スクールの推進体制を構築しようとする教育委員会を支援）となります。

〔 文科省HP・文科省研修会・「学校を核とした地域力強化プラン」の予算（案）に係るブロック説明会資料より 〕

来年度から県立11校にコミュニティ・スクール制度が導入されることが報道発表されました。県内の高校では初となるものです。背景に高等学校10校に共通する部分として、生徒の減少や小規模化等の課題を話し合う協議会が設置されていたこと、在校生の通学区域が限られ、地域性も高いことがあるということです。

【導入校】

高等学校 … 揖斐、不破、郡上北、八百津、東濃、瑞浪、土岐紅陵、恵那南、坂下、飛騨神岡
特別支援学校 … 岐阜清流高等特別支援学校

中津川市域学連携成果発表会

2月20日（火） 苗木交流センター

中津川市は、中京学院大学をはじめとする様々な大学と地域の発展、優れた人材の育成をめざして、域学連携事業が展開されています。また市内の中学校や高等学校においても地域に関連する授業などが活発に行われています。生徒・学生たちが市全体をキャンパスとして行った様々な研究・調査の成果を発表し、広く市民の方々に理解していただくとともに、研究活動に対する意見をいただき、今後の活動に生かしていくことを目的として成果発表会が行われました。

プログラム【発表テーマ】は以下の通りです。

◎ 「苗木に観光客を呼び込もう」 プロジェクト」	◎ 「中津川市蛭川地区への メニュー提案」	◎ 「加子母木匠塾」	◎ 「加子母の独自性」と 観光プランディング」	◎ 「阿木地域に子育て世代を 呼び込むパンフレットを作る」	◎ 「坂下地区の蕎麦粉を使った お菓子の開発について」	◎ 「外国人が一人で来て、 一人で帰られる環境づくり」	◎ 「駅前商店街と連携した 栄養価計算代行サービスの提供」
中津川市立苗木中学校	至学館大学 栄養科学科	名城大学・金沢工業大	観光プランディング」	大正大学 地域創生学部	中京学院大学	健康栄養学科	中京学院大学 健康栄養学科・経営学科

他の発表者が大学生の中で唯一、苗木中学校2年生4名の発表がありました。苗木に観光客を呼び込むために、『篠島研修で出会う人を呼び込む』『篠島の人たちを味方につける』ことをテーマとして、以下のような具体的活動が展開されました。

- ・自分たちが苗木のよさを知る→苗木検定の作成
- ・印刷会社に依頼して自作パンフレットの作成
- ・広報広聴課に依頼して紹介動画の作成
- ・五平餅の振る舞い
- ・中津川市のポスター掲載のお願い
- ・合唱・ソーラン節の披露
- ・民宿、浜、商店でのPR活動



【苗木中学校2年生代表者による発表】

この活動によって名古屋在住の方が中津川市へ（苗木中にも）訪れられたということの喜び、活動を支えた方への感謝の気持ち、そして活動を通して、更に苗木への想いが強くなったという、生徒たちが体験を通して、様々な価値を獲得し、大きな成長を遂げたことが実感できる発表でした。

また来賓・大学生・市民の方という大人ばかりの慣れない状況の中で、堂々と発表できたことは、今後にも生きて働く力になると思います。その中でも、**突然の質疑に対して、実的確に回答ができていたこと**には感心しました。（多くの参加者の方も同じ思いを抱いてみえました。）『域学連携成果発表会』という枠の中でしたが、苗木中学校2年生の集団・個の頑張り・素晴らしさが十分に伝わりました。

昨年も『域学連携』について取り上げさせていただきましたが、地域を外側からの新鮮な目で見て、若者の柔軟な発想によって、地元住民とともに具体的方策について協議し推進するという取組は、地域活性化・地域振興の大きな一歩となるものであると思います。そして、取組の成果を『成果発表会』という形で位置づけることは、お互いの刺激にもなり、何より地元住民にとっては、学生の姿・思いから希望を抱くことができる場でもあると思いました。こうした場を設定し、中心となって運営された中京学院大学及び中津川市役所市民協働課の皆様、有難うございました。

東子連理事会より

2月20日(火)

中津川市にぎわいプラザ

第2回東濃子ども会連合会理事会において、平成29年度の事業報告・決算経過報告、平成30年度の事業計画・予算案、各種表彰案が提示され、承認されました。その後、各市からの活動交流が行われ、それぞれ特色ある事業が紹介されました。

- ☆多治見市 子ども会活動後に活動記録や感想を書くマンスリーレポート ジュニアリーダー養成宿泊研修会
- ☆土岐市 第2回「GINO CON」
- ☆瑞浪市 中央公民館文化祭にて「子ども広場」出店 ドッチボール大会
- ☆恵那市 ドッチビー交流会 インリーダー研修会
- ☆中津川市 インリーダー研修会 郷土カルタの普及

そして来年度、『**岐阜県子ども会育成大会** (旧 中央研修会)』が**東濃で開催**されることから、岐阜県子ども会育成連合会理事長、事務局長も同席されて、説明と協議が行われました。2月20日現在案は以下の通りです。

日時：平成30年6月24日【日】 13:00~16:00

会場：多治見市笠原中央公民館アザレアホール

テーマ：『子どもの心にかえて ~子どもの心に寄り添い、子どもの心を耕す~』

東濃地区2団体の活動も発表される予定です。今からご予約の中に組み込んで、当日是非、参加ください。

平成30年度 社会教育・生涯学習事業 年間計画予定

5/ 9 (水) 13:30~16:00 (5A)
社会教育・生涯学習行政担当者会

5/23 (水)、24 (木)
岐阜県青少年美術展 (少年部) 作品搬入日
各学校・塾等 → 5C 10:00~17:00

5/25 (金) 14:00~16:00 (5A)
第1回社会教育振興協議会理事・担当者会

6/ 6 (水) 午後 (長良川国際会議場)
岐阜県PTA定期大会

6/21 (木) 13:00~16:40 (恵那庁舎 大会議室)
社会教育主事等研修会兼地域コーディネーター研修会
(各市における地域学校協働活動やまちづくりの円滑な実施を推進するための担当者の資質向上、活動に従事する地域人材の育成を図る。)
(講師紹介) 妹尾 昌俊 (せのお まさとし) 氏
教育研究家、学校マネジメントコンサルタント
中教審 学校における働き方改革特別部会 委員
NPO まちと学校の未来 理事

~本の紹介~

★『先生が忙しすぎる』をあきらめないー半径3mからの本気の学校改善』

★『変わる学校、変わらない学校』

←社会教育委員、公民館担当者、行政担当者、コーディネーターの方だけでなく、各市教育委員会の方も是非ご出席ください。

6/24 (日) 13:00~16:00 (笠原中央公民館)
岐阜県子ども会育成大会

7/ 6 (金) 13:00~17:00 (5C)
岐阜県青少年美術展 (少年部) 作品返却日

7/27 (金) 14:00~16:00 (5A・恵那文化C)
第2回社会教育振興協議会理事・担当者会

8/24 (金) 10:00~15:30 (恵那文化センター)
東濃地区社会教育振興協議会研修会
午 前：実践発表 午後：講話、グループワーク
講 師：梶村 明人 氏 (愛知県津島市学校支援本部
トータル コーディネーター)

テーマ案：「地域と学校の連携・協働のあり方」
←社会教育委員、公民館長・主事、コーディネーター、
青少年育成委員、学校関係者、PTA担当者の方の
出席をお願いします。

10/10 (水) 午後 (中濃総合庁舎)
学校・家庭・地域連携協力推進事業担当者研修会

10/12 (金) 午前 (恵那庁舎 大会議室)
学校・家庭・地域連携協力推進事業従事者研修会

10/18 (木)・19 (金) 大垣市
東海北陸社会教育研究大会岐阜大会

10/27 (土) 終日 (可児市)
岐阜県PTA研究大会

11/29 (木) 時間未定 (岐阜教育センター)
生涯学習・社会教育推進総合会議

2/ 1 (金) 13:30~16:00 (5A)
社会教育・生涯学習行政担当者会

3/15 (金) 14:00~16:00 (5A)
第4回社会教育振興協議会理事・担当者会
(第3回は、9月末頃開催予定…瑞浪市の発表について)